

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	1	普通	技術・家庭	技術	1

年間指導目標

生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化する技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの実習や観察・実験、調査等を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成していくことを目標とする

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	[技術分野] 技術と私たちの生活 木材加工分野	技術 立体構想図 キャビネット図 等角図 製品の設計 製品の制作	キャビネット図と等角図の理解 木材の性質の理解 木材の加工
	後半	[情報分野] 情報と私たちの生活	コンピュータのしくみと基本操作 コンピュータの利用 ソフトの利用	コンピュータの発達 コンピュータの種類 コンピュータの構成 ローマ字入力の習得
2	前半	[技術分野] 技術と私たちの生活 木材加工分野	製品の設計 製品の制作	木材過去の特徴を理解 木材加工用道具の特徴と使い方 実習中の怪我をしない道具の扱い方 工具や材料の正しい取り扱いの理解
	後半	[情報分野] 情報と私たちの生活	入力練習とインターネットを利用した検索 ソフトの利用 (ワードの利用)	インターネットを使った検索の方法とレポートの作成 著作権の問題を生徒に考えさせる。 情報発信を発信させる際の責任の重さを徹底させる。
3	—	[技術] 木材加工 [情報分野] 入力作業	製品の設計 製品の制作 入力練習とインターネットを利用した検索	大三角法の理解 砂時計の制作 木材の組み合わせ方 検索したものの利用するときの注意点

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	1	普通	技術・家庭	家庭	1

年間指導目標

家族、家庭に興味、関心を持ち、知識を定着させる。
被服実習を通して、基礎的な技術を身につける。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	家族と家庭生活	家族の形 家庭生活 家族とのかかわり 家族のかかわりとコミュニケーション 家庭と地域のつながり	家庭の中での立場、役割を理解させ、将来に向けて自立を促す
	後半	被服実習	マイクロファイバークリーナーの製作	手縫いの基礎的な技術の定着がながないよう、安全に気をつける
2	前半	被服実習	マイクロファイバークリーナーの製作	文化祭に展示できるよう最後の仕上げを行う
	後半	幼児の生活と家族	幼児の心身の発達 幼児の生活の特徴 幼児の生活習慣 幼児の発達と遊び	幼児の生活や特徴について理解を深める。
3	—	わたしたちの住生活	住まいのはたらき 家族の生活と住まい 安全な住まい方の工夫 健康を守る住まい方の工夫	生活の基盤となる住居についての理解を深める

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	2	普通	技術・家庭	技術	1

年間指導目標

生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化する技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの実習や観察・実験、調査等を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成していくことを目標とする

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	[技術分野] エネルギー変換の技術	エネルギー変換の技術 エネルギーの利用 燃料を利用したエネルギー 発電と送電の仕組み エネルギー変換効率と省エネルギー	エネルギー変換について理解させる。 地球環境に与える影響を考えさせる。
	後半	[技術分野] エネルギー変換の技術	電気エネルギーの特徴 電気機器の安全な利用 電気回路と回路図 動力や音・信号に変換する仕組み	電気エネルギーについて理解させる
2	前半	[技術分野] エネルギー変換の技術	電気機器の安全な利用 テーブルタップの制作	電気機器の安全な利用について理解させる
	後半	[情報分野] 情報とコンピュータ	コンピュータの構成 コンピュータノ機能と装置 コンピュータの処理の仕組み	コンピュータの構成機能について理解させる
3	—	[技術分野] 実習（ブルートゥーススピーカの制作）	ブルートゥーススピーカの制作 はんだ付けの注意 基盤の特徴	はんだこての使い方の理解

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	2	普通	技術・家庭	家庭	1

年間指導目標

食生活に興味、関心を持ち、知識を定着させる。
被服実習を通して、基礎的な技術を身につける。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	健康と食生活	食事の意味 よい食習慣とよくない食習慣 栄養素の種類とはたらき	食生活に興味を持ち、理解を深める。
	後半	健康と食生活	中学生に必要な栄養 食品に含まれる栄養素	中学生にとって必要な栄養を理解し、日常生活に反映させることができるよう促す。
2	前半	献立作成と食品の選択	献立作成 食品の選択と購入	献立作成や、食品購入など、日常的に必要な内容を理解し、活用できるようにする。
	後半	衣生活 被服実習	衣服の着用 衣服の入手 衣服の手入れ ミシンの使い方	衣服についての理解を深める。 実習にスムーズに入れるようにミシンの使い方を徹底させる。
3	—	被服実習	トートバッグの製作	ミシンを使ってトートバッグを完成させる。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	3	普通	技術家庭	技術	1

年間指導目標

生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化する技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの実習や観察・実験、調査等を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成していくことを目標とする

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	[情報分野] コンピュータの利用	修学旅行の見学地をインターネットを利用して調査する。	検索エンジンの利用 正確な情報を入手する方法を学ぶ
	後半	[情報分野] コンピュータの利用 [技術分野] 機械について	現地調査後のレポート提出 機械の仕組み 回転運動と往復運動 機械各部の名称（自転車やエンジン） 内燃機関のしくみ	調べてきたことをレポートにまとめる 機械について理解を深める
2	前半	[技術分野] 機器の仕組みと保守	身の回りの機械の仕組みを調べる 自転車 4サイクル機関の仕組み	身近な危機に興味を持たせる 電気を利用する危機について学び 環境問題を考える。
	後半	[情報分野] 簡単なプログラミング	プログラムについて理解させる 実際にプログラミングをする	プログラミングの体験と理解を深める
3	—	[情報分野] 卒業制作	コンピュータを使い画像の編集をする。 指定された大きさに画像を収める	画像ソフトの利用を理解する 茶策県に注意させる。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	3	普通	技術・家庭	家庭	1

年間指導目標

住生活、消費生活、環境問題に関して興味、関心を持ち、知識を定着させる。
被服実習を通して、基礎的な技術を身につける。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	消費生活	私たちの消費生活	身近な消費生活について関心を持ち、理解を深める
	後半	被服実習	被服実習 デザイン刺し子巾着	家庭科室の使用法、手縫い・ミシンの使い方を確認。 体育祭に向けてはっぴの作製を行う
2	前半	被服実習	被服実習 デザイン刺し子巾着	引き続きデザイン刺し子巾着の作製を行う
	後半	消費生活	いろいろな買い物方法 消費者トラブルの解決 買い物の社会的な意味	日常生活に直結する買い物方法、消費者トラブルについて知識を持ち、理解する
3	—	家庭生活と環境 中学校での家庭分野のまとめ	消費生活と環境とのつながり	環境問題への関心、問題意識を持ち、日常生活で自らできることを考える 3年間の学習を振り返り、今後の家庭生活で実践できるようにしていく

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高校	2	普通	家庭	家庭基礎	2

年間指導目標

生活に必要な衣食住の基本的な知識、技術を習得し、実社会に適応する力も持ち、より健康で豊かな生活が出来るようにすることを目標とする。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	家族・社会の共生	第1章 生涯を見通す 第2章 生をつくる 第3章 子どもと共に育つ 第4章 高齢社会を共につくる	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の発達課題を学ぶ。 ・家族や家庭、それらに関する法律を理解する。 ・子どもの成長・発達の特徴を知り、家族の役割を理解する。 ・高齢者の心身の特徴を知り、高齢期の生活を充実させるための方策を考える。
	後半	被服製作	ペンケース製作 (ミシンを使用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンの使い方を理解し、縫製作業が出来るようにする。 ・製作に必要な用具を準備し、安全な使い方が出来るようにする。 ・手入れや補修が出来るようにする。
2	前半	生活の自立	第7章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の自立のために、衣服素材を理解する。 ・現在の衣生活を考え、既製服の購入、洗濯、保管の仕方を理解する。
	後半	生活の自立	第6章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康であるためにどのような栄養素をどのくらい食べれば良いか、また栄養素の種類と働きを理解する。 ・食品の流通経路や安全な食品の鑑別や購入について理解する。
3	—	生活の自立	第8章 住生活をつくる 第9章 経済生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な住居を知り、安全で快適な住生活を考える。 ・情報化社会における消費者の役割や問題を考える。 ・消費行動が環境に及ぼす影響について考える。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高	3		情報	情報I	2

年間指導目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	第1章 情報社会と私たち 第3章 システムとデジタル化	1節 情報社会 2節 情報社会の法規と権利 3節 情報技術が築く新しい社会 1節 情報システムの構成 2節 情報のデジタル化	情報社会の現状や情報の特性について理解する。 情報に関する法規の必要性やモラルを意識できるようにする。 コンピュータの構成と動作の仕組み、ソフトウェアとインタフェースについて理解する。 2進数と情報量の関係を知る。
	後半	第3章 システムとデジタル化 第2章 メディアとデザイン 第4章 ネットワークとセキュリティ	2節 情報のデジタル化 1節 メディアとコミュニケーション 2節 情報デザイン 3節 情報デザインの実践 1節 情報通信ネットワーク	様々な表現様式のデジタル化について理解する。 社会の中で利用されている情報デザインについて学び、情報を正確に、わかりやすく伝える方法について理解・実践する。 ネットワークの取り決めについて理解する。
2	前半	第4章 ネットワークとセキュリティ 第6章 アルゴリズムとプログラミング	2節 情報セキュリティ 1節 プログラミングの方法 2節 プログラミングの実践	脅威に対するさまざまな安全対策を学び、情報セキュリティを確保する方法や技術を理解する。 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解し実践する。
	後半	第5章 問題解決とその方法	1節 問題解決 2節 データの活用 3節 モデル化 4節 シミュレーション	問題解決の手順を学ぶ。 データ分析の方法を理解し、分析した内容を見やすく可視化することができる。 モデル化する手順と方法およびシミュレーションの意義や方法を理解し、実践することができる。
3	—			